

11月26日 避難所などの充実に向け
協定を締結

11月26日(月)、町は南部屋産業株式会社と「災害時における福祉用具の貸出し及び設置等に関する協定」を締結しました。

これにより、避難所に体の不自由な人向けの福祉ベッドを設置するなど、避難所における福祉的な環境の改善が期待されます。



11月30日 自治功労者を表彰 ~平成30年度大槌町自治功労者表彰式~

11月30日(金)、町の自治行政に尽くし、功績が顕著な方を表彰する自治功労者表彰式が開催され、6名の方々が表彰されました。



田口 満 さん

29年間にわたり統計調査に従事し、行政運営の基盤となる様々な統計調査において尽力され、町勢発展に寄与されました。



山田 久恵 さん

32年間にわたり統計調査に従事し、行政運営の基盤となる様々な統計調査において尽力され、町勢発展に寄与されました。



佐藤 邦明 さん

平成16年7月から、人権擁護委員として悩みや不安を抱える住民の問題解決のために尽力され、人権思想の普及および高揚に寄与されました。



三留 敏子 さん

平成16年7月から、人権擁護委員として悩みや不安を抱える住民の問題解決のために尽力され、人権思想の普及および高揚に寄与されました。



田鎖 隆悦 さん

昭和47年3月から大槌町消防団員として、消防組織の充実と町民の生命財産の安全確保に尽力され、地域防災の向上に寄与されました。



三浦 ツル さん

昭和62年4月から大槌町婦人消防協力隊員として、消防組織の充実と町民の生命財産の安全確保に尽力され、地域防災の向上に寄与されました。

12月20日 「大槌のみなさんに福を」
~花巻農業高校生徒が門松を寄贈~

12月20日(木)、造園などを学ぶ花巻農業高校環境科学科の2年生6名が、大槌町役場を訪問し、門松を寄贈しました。花巻農業高校では、東日本大震災の翌年から、沿岸の被災地に門松を寄贈しており、当町へは2回目の寄贈となります。役場の玄関前では、高さ約180センチメートルの門松2基が、生徒たちの手によって丁寧に飾り付けられました。門松を設置した高間館大斗(たかまだてひろと)さんは、「完璧ではないところもありますが、大槌町の皆さんに福が訪れるように頑張って作りました。これを見て、少しでも嬉しい気持ちになってほしいです」と話しました。門松は、1月中旬頃まで飾られる予定です。



町民の皆様のご理解とご協力のもと、復興まちづくりの基盤となる面整備事業もいよいよ最終段階を迎え、防災集団移転促進事業及び土地区画整理事業、災害公営住宅の整備など、住まいに関するハード事業については、いづれも九割以上が完成し、本年内にはすべて完了する見込みです。

昨年六月一〇日にオープンした大槌町文化交流センターおしゃつちにつきましては、町内外を問わず、日々、多くの皆様にご利用いただいております。併設した町立図書館については、前年同月比で約一〇倍の利用者数となっております。

平成最後となる本年は、「大槌町東日本大震災津波復興計画」から一〇年後を見据えた「第九次大槌町総合計画」へと襷が繋がれる年であり、また、町制施行三三〇周年を迎える節目の年でもあります。新たな総合計画のもと、東日本大震災津波の「経験」と「教訓」を生かし、人と人との繋がりを大切にしながら、誰もが安心して暮らせる「町民の皆様と協働で進める持続可能なまちづくり」を目指してまいります。

今後につきましては、一日でも早く、すべての町民の皆様が安心して暮らしている環境の整備を進めるとともに、コミュニティの再生や「心の復興」に向け、被災された皆様に寄り添った取り組みを継続してまいります。

また、これまでご支援いただきましたすべての皆様への感謝を忘れることなく、今後も尽力いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

町民の皆様にとりまして、本年が幸多き年となりますようご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

平成三十一年元旦

大槌町長 平野 公三

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、平成三十一年の新春を穏やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

東日本大震災津波から八度目の新年に際し、改めて犠牲となられた皆様に心より哀悼の意を表します。また、今もお応急仮設住宅での生活を余儀なくされております皆様に、改めて心からお見舞い申し上げます。

